

【提案項目】

43 県立安芸津病院の医療提供体制の維持・強化について

【提案要旨】県立安芸津病院の医療提供体制の維持・強化

県立安芸津病院は急性期から在宅療養支援まで幅広い医療を広域的に提供しているほか、地域包括ケアの拠点的な役割を担う、地域にとって重要な施設である。このため、頻発する大規模地震に備え、施設の耐震化など早急な安全確保への対応とともに、更なる機能の充実が求められる。

■提案事項

○ 耐震化対応の基本構想、基本計画に基づき早急に耐震化を実現すること
患者や医療従事者などの安全を確保し、災害時に役割を十分に果たせるよう、移転建替えなど施設の耐震化対応を早急に進める必要がある。

○ 広域的な医療や急性期における医療の機能維持・強化を図ること

県立病院として、医師等の人的確保や診療機能を強化するなど、安定的な医療提供体制を整備し、ハード面においても充実を図る必要がある。

○ 地域包括ケアの質の向上に積極的に貢献すること

「地域に密着した病院」として、病気の予防から治療、在宅への復帰まで、地域住民の健康増進に繋がる更なる取組みが必要である。 【提案先：広島県】

東広島市の現状と課題・取組状況

- 県立安芸津病院は、安芸津町、竹原市、大崎上島町、呉市安浦町などを主な診療圏とし、病気の予防から治療、在宅への復帰まで、地域と一体となって地域住民の健康を支える取組みを進めている。
- 旧棟は耐震化基準を満たしておらず、新棟も令和12年に法定耐用年数を経過することになる。直近では能登半島地震で震度7を記録するなど、大地震や津波がいつ発生してもおかしくない状況にあり、早急に耐震化対応を実現する必要がある。
- 今後の医療需要などを見据えた適切な規模・機能が整合する施設の耐震化対応を行う必要がある。
- 幅広い疾患に対応する総合医療機能を発揮しつつ、県立病院の使命として、広域的な医療や地域で不足する医療機能の維持、安定的な提供が求められている。
- 地域住民の健康と暮らしを支えるため、感染症に対するワクチン接種をはじめとした予防医療の強化や、在宅療養支援の充実など地域包括ケアの更なる質の向上に積極的に貢献することが求められている。

県立安芸津病院の現況(令和6年4月1日現在)

診療科目 内視鏡内科、消化器内科、循環器内科、
小児科、外科、整形外科、緩和ケア外科、
リハビリテーション科、放射線科、
婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、
泌尿器科

救急医療体制 二次救急(病院群輪番制病院)

職員体制(常勤) 医師10人、看護師70人、その他30人

入院患者数 延べ 22,766人(令和5年度)

外来患者数 延べ 49,486人(令和5年度)

